

# アニ・マート animato

アニマート(音楽用語)：「活発な・生き生きとした」という意

http://www.saintnoah.jp/kasukabe/

## 病院短信

### 『一本の映画から』

医師 沢田 實

たった一本の映画が、その人の人生を決定することがある。

福岡のとある映画館で見たビートルズの映画『A Hard Day's Night』

衝撃を受けた若者は音楽の道へ

歌を作りグループを組んで唄い出す(西南学院大学)「チューリップ」結成

一人で東京に売り込みに出かけ

翌年メンバーを引き連れレコーディングとデビュー

本格的に音楽活動を開始

最初の二曲が売れず、三曲目に浮沈を賭け

一九七三年『心の旅』がシングル八十七万枚のビッグヒットに

成功への道をまっしぐらに突っ走る

十七年目で解散するが、その後一九九七年再結成

二〇一三年には四十周年目を迎えるまでに

財津和夫六十九歳 夢のような人生

『青春の影』『銀の指輪』一九七四、『サボテンの花』一九七五、『虹とスニーカーの頃』一九七九。

メンバーの一人、ギターリストの安部俊幸は三年前の二〇一四年、六十四歳で死去している。

「チューリップ」という音楽グループは、ビートルズの影響があつて生まれた。(若い人もビートルズという名前ぐらいは聞いたことがあるだろう。メンバーはジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリソン、リンゴ・スター。ヒット曲「イエスタデイ」や「Let It Be」などは有名)ビートルズという存在がなければ「心の旅」も「青春の影」も「サボテンの花」も生まれなかったかもしれない。

この時代、九州では大分から南こうせつ、伊勢正三らの「かぐや姫」、福岡からは武田鉄矢らの「海援隊」、井上陽水、長崎からは、さだまさしらの「グレイプ」が、関西方面では、広島から吉田拓郎、兵庫から「翼をください」竹田の子守歌などの名曲で知られる伝説のフォークグループ、後藤悦二郎・平山泰代・山本俊彦・新居潤子・大川茂らの「赤い鳥」、京都からフォークの大御所・加藤和彦、北山修、はしだのりひこの「フォーク・クルセダーズ」、ばんばひろふみの「パンパン」、大阪では西岡たかしらの「五つの赤い風船」が現れ、東京では荒井(松任谷)由実や小椋桂が独自の世界を見せた。神奈川からは小田和正らの「オフコース」が加わり、北海道では中島みゆきが「時代」を駆けぬけた。岩手からは独自のさわやかな歯切れのいい音楽で大瀧詠一が登場、と続いていた。まさにフォーク・ポピュラーの黄金時代でもあった。

歌はそれぞれの時代を映し出す鏡のような存在だ。誰にとつても、それぞれの時代を生きた人々の大切な宝物であり貴重な財産でもある。

夢のような人生、劇的な人生、幸福な人生、苦難に満ちた人生、平凡な人生…どの時代の、どんな人生であつても決して平坦な人生などないだろう。平凡と思われる日々の中にどれだけの辛苦が刻まれていることか。どんな人のどんな人生であれ、それぞれに尊く、輝かしく、貴重な、意味のある人生なのだと思う。

その人生の晩年に認知症になる人が増えている。家族の精神的苦悩は如何ほどか。病院で日々認知症の患者さんと向き合う中で、そんな大先輩たちの往年を想像しながら、支援をさせていただいている。



## 1病棟 介護福祉士

折居 きよ子

### 『定年を迎えて』

## いきいき介護

入職して11年経ち、定年を迎える事になりました。心に残っている患者さんとのエピソードを書いてみました。

トイレの場所が認知できずどこの部屋にも入って壁・床頭台・廊下などに放尿する患者さんが時折いますが、私達は清拭セットと消毒液を持って駆け回っていました。排泄パターンを把握してトイレに誘導し成功した時は、達成感と嬉しさがありました。

食事摂取出来ない状態で入院してきた患者さんが、入院後徐々に食べられるようになる事はしばしばです。ホールでの食事は周囲を見て食欲が湧くのでしょうか…何がきっかけかはそれぞれとは思いますが、それを聞いたご家族が喜んでくれるのがとても嬉しかったです。

今まで拘束や抑制されていた方が当院に来て自由に動ける事をご家族はとても喜んでくれます。ですが無理な歩行による転倒の危険、布団や枕を私物と勘違いして職員に渡さないなど、難しい判断を迫られる事もありました。

当院オープンから勤めてきましたが、職員目線での意見を述べさせて頂き、多少なりとも院内の改革に携われたのではないかと思います。これからもより良い方向へと変わっていける病院であり続けてほしいと願いつつ、ここまで働かせて頂いた事に感謝します。ありがとうございました。



## さんこうコーナー

病院に来てもうすぐ2か月。ごはんモリモリ食べて、一回り体も大きくなりました。近頃『おすわり』できるようになったの、えらいでしょ。『待て』が難しいの、誰か待ち方教えて〜！



## 事務屋の独り言

常務理事 事務局長 瓦井 洋

### 『調剤医療費』

この国の医療費は、年々、膨張の一端をたどっています。昨年度(十六年度)の概算では四十一兆三千億円と気の遠くなるような数字が並びます。そして今後も医療費が減少する傾向はあまり見えてきません。要因はいろいろあります。まずは人口の高齢化。そして医療技術の高度化も加わります。さらに薬価の高騰など。医療技術の高度化に合わせた医療機器などの開発発展や、オプジーボ(がん免疫薬)などに象徴されるような高度な医療薬の開発は医療界にとつては喜ばしい限りですが、このことが医療費の膨張に一役買っているとすれば、厚労省も痛しかゆしです。さて来年度(十八年度)は、六年ぶりに医療保険と介護保険の診療報酬、介護報酬の同時改定が行われます。ここ数年、何をやっても医療費削減が遅々として進まない厚労省も大変です。財務省からは医療費本体の大幅削減を求められ、日本医師会からは削減どころか本体への増額を求められているからです。あちらを立てればこちらが立たず、で結局本体は〇.二%程度の増額で、医薬品を含む調剤医療費を二%削減するという折衷案に落ち着きそうなのですが…。

では、二%削減目標の調剤医療費って何なのでしょう。簡単に言えば調剤薬局に支払われる診療報酬のことです。最近では院外薬局、それも病院の門前にあるいわゆる門前薬局が殆どになりましたが、ここまで門前薬局が増え続ける原因は、厚労省が打ち出した医薬分業(診療を行う場所と調剤をする場所を分ける)という、訳のわからない政策にあると思われまふ。そしてその調剤報酬は院内薬局の実に三倍にもなるのです。ですから猫もシャクシもとなるわけです。本来、厚労省が目指した調剤薬局とは、薬剤師が国民の健康管理を身近で支え、薬剤師が国民に寄り添うといったそんな薬局、いわゆる「かかりつけ薬局」を目指したはずなのです。一般的に薬剤師の業務は調剤の印象が強いですが、服薬指導や薬歴管理などの役割も担っているのです。ところが大方の門前薬局では「大病院の一時待ちの三分診療」と大差はなく、大学病院などの門前薬局では「一時間以上待たされる」こともざら。こんな門前薬局に「かかりつけ薬局」の役目を負わせること自体が無理です。患者さん自身が門前薬局以外に薬を受け取る薬局を一つに決めていないのが実情なのです。これでは厚労省の目指す「かかりつけ薬局」も費用ばかりかかってしまつて、それこそ絵に描いた餅になってしまします。

「かかりつけ薬局」が地域に浸透し、薬剤師による服薬指導や薬歴管理がきちんとされるようになれば薬の飲み残しなどの減少で、二十九億円も医療費が削減されるというデータもあります。また、多くの病院で使用されている液体の薬。一本の瓶ごとに販売されるものから、患者さんによっては全部打たずに余ってしまうことも結構あるんですよ。当然、この残薬は廃棄されます。抗がん剤などの高額な薬でさえ廃棄されてしまします。こうして廃棄された残薬の費用は一年間で一千億円にもなるそうです。

医療を受ける患者さんも、薬を使う医療側も、こんな無駄が公然と行われていることを知っておくべきだと思ふのです。



# 秋のバスハイク



10月中旬に、恒例秋のバスハイクに行ってきました！  
今回は初の試み、2つの病棟合同です。  
見慣れない顔に「あなたは何階なの？私は2階よ」など、患者さん達も新鮮な様子でした。  
色づき始めた木々を見て「もう秋ね」「風が気持ちいいね」いつもと違う景色に笑顔が溢れました☆



# デコボコ一座

待ちました～！「デコボコ一座」の皆さんによる爆笑演芸ステージの始まり始まり～。  
笑って笑って涙して。たくさんの元気をもらいました！  
あっという間の1時間。また来年も楽しみですね◎



# おやつパーティー



『喫茶セントノア』によろこそ☆  
パイにケーキにババロアにたい焼き。アイスにスイートポテトもありますよ！  
甘～いおやつが大集合。一番人気はアイスでした。  
皆さん食べるのが早いこと早いこと！  
やっぱり甘いものはいいですね。  
大満足なおやつパーティーでした♪



## 相談室だより



医療福祉相談室  
江原 佳世子

師走を迎え、年賀状の準備などで家族・親戚・恩師・友人に思いを巡らせる季節となりました。皆さんは「ファミリーヒストリー」というテレビのドキュメンタリー番組をご存知ですか？内容は、家族の歴史をたどり、家族の絆を見つめていくというものです。一人の人生が、家族の人生と重なって、巡り合った人々の人生とも重なって進んでいきます。  
人は必ず誰かと関わり合いながら生きていくわけですが、その中で家族が一番近くにいても尊い存在だと思います。奇跡のような命のリレーが繰り返されて、現代の私たちがいるのですよね。  
当院の患者さんの平均年齢は83歳。様々な経験をされてきた人生の大先輩方です。そして、患者さんお一人お一人にそれぞれ大切なご家族がいらっしゃると思います。患者さんとご家族の皆様にとって、当院で過ごす日々が穏やかなものであるようにお手伝いしていけたらと思っています。  
何かございましたら、いつでもお声をかけて下さい。



## 看護のひろば



3病棟 看護師  
渡邊 ルミ子

食欲の秋が過ぎカゼやインフルエンザの流行する季節になりました。そこでその流行に乗らないために、まずはインフルエンザの予防接種。外出後など必要時の正しい手洗いやマスクの着用、人混みへの外出を控える。そして栄養や休養に配慮して体力や抵抗力を高める事が大切です。  
きちんと食事をして栄養バランスが悪くビタミンやミネラルが不足していると、体調不良の原因となります。野菜に含まれるほとんどの栄養素は収穫した時点からどんどん減少していきます。切り方や保存方法でも減少は加速するため、栄養ロスが9割を超える事も少なくないとか。野菜は繊維に沿って切ることが大切で、縦切りを心掛けると栄養の損失が抑えられます。切った後アクや辛味などのクセを取り除くため水に晒す事がありますがアクや辛味と一緒に水溶性の栄養素も流れ出てしまいます。アク抜きには塩を振って10分ほど置き軽く水洗いすると良いそうです。他には...人参は乱切りし、ゴボウは大きく切る。ブロッコリーは茹でる前に5分放置し、ニラは根元をみじん切りにする...などで栄養を捨てないで済むそうです。栄養素を効果的に摂取して、流行を跳ね返せる体を作りましょう。



## スタッフ紹介



1病棟 介護員

たかはし まき  
高橋 麻紀

星座：おうし座

血液型：O型

趣味：お出かけ

(だけど今はインドア中心)



日本に来て26年経ちました。日本に来る前は、タイで見ていた日本のアニメ『一休さん』や『忍者ハットリくん』の影響もあり、日本人はちょんまげに着物姿でいると思っていたので、来てみてちょっとビックリです。この仕事に就いて15年近く経ちますが、まだまだ毎日が勉強で、職場の皆さんに日々支えられています。  
昨年はいろいろな事がありましたが、子供も無事に巣立ちました。私もまだまだ頑張っていきたいと思います。

## 【12月の予定】

- ◆ピアノコンサート  
2日(土) 14:00～ 各病棟デイルームにて  
西川 潤子さんによる優しい音色をお楽しみ下さい♪
- ◆キャンドルサービス  
25日(月) 16:30～  
ナイチンゲール誓詞を唱和し誓いを立てた職員がキャンドルを持って、ちびっ子サンタ達と共に各病棟をまわります☆
- ◆誕生日会  
14:00～ 各病棟デイルームにて  
1病棟：22日(金)  
2病棟：11日(月)  
3病棟：13日(水)



Merry Christmas

